

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	渉外事務					
担当部署・課長名	秘書広報	課	秘書	係	課長名	五十嵐 孝雄

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総 合 計 画 書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業 10	渉外事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	-------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市長及び副市長	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 人数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対応すべき公務にあたることできる。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 秘書担当の責により対応できなかった公務の数 / 対応するべきであった公務の数
		③ そのために何をしましたか。 市民団体や外部組織等との調整を図り、公務日程を調整し、必要な準備等を行った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) (参考活動指標) 市長の公務日誌に掲載した公務の数

2	指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	2	2	2	/	/
		成果指標	②の数値	%	0	0	0	/	/
		目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	件	665	687	707	/	/	

3	経費	事業費(実績)		円	2,347,700	2,363,959	2,346,667	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	2,347,700	2,363,959		2,346,667
			特定財源		円	0	0		0
			(うち受益者負担)		円	0	0		0
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	1.5	1.5		1.5
			所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		0.0
			職員人件費(再任用以外)		円	12,366,000	12,366,000		12,366,000
	職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
	事業費+人件費		円	14,713,700	14,729,959	14,712,667			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 開始時期は市制施行当時から。開始理由は、行政運営上、外部団体等との情報交換、交渉が必要不可欠であるため。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 外部団体との情報交換や交渉にあたって必要となる交際費に関しては、全国的に支出に関する情報公開請求や住民監査請求等が、年々増加している。現市長が就任してからは、発起人等が開催する祝賀会会費、その他市長が必要と認める経費に限り、支出しているところである。

仕 事 の 内 容	渉外事務				
担当部署・課長名	秘書広報	課	秘書	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	内容等に関する意見や要望はない。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	⑥ 【取組手法の種類】①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成⑥情報提供・情報交換（広報媒体：ホームページ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 「情報の共有」については、市民協働において重要な要素であることから、引き続き、適時・的確な情報共有に努めたい。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 限られた時間の中で、いかに多くの外部団体等との情報交換を行うかなど、対応の必要性判断が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 移動手段や移動経路など、効率的・効果的な対応ができることを念頭に日程調整を行うとともに、過去3年程度の対応実績などを踏まえ、対応状況の全体的な均衡を保てるよう努めた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 引き続き、いかに多くの外部団体等との情報交換を行うかなど、対応の必要性判断が必要である。				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 何らかの基準で、優先順位を考えていく必要がある。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 多種多様な団体等がある中、優先順位をつけることは難しい。日程が重なる場合には、幅広く交際するという主旨で、新たな団体を優先する等も検討したい。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。